

『東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の中期的リスクの
低減目標マップの改定（2回目）』に関する当社の認識について

2023年3月20日



東京電力ホールディングス株式会社

1. 第105特定原子力施設監視・評価検討会（2/20）に提示した当社意見との相違点について

➤ 大型廃棄物保管庫耐震補強完了（①）

第105特定原子力施設監視・評価検討会（2/20）に提示した当社意見

目標時期：「2025年度」から「今後の更なる目標（2026～2034年度）」へ変更

意見理由：「大型廃棄物保管庫耐震補強完了」は、現在、建屋の耐震補強範囲や補強方法の検討を進めている状況。建屋の補強の検討には、課題が多く、補強工事完了までに相応に時間を要することが想定されるため、一部の吸着塔受入開始時期の前倒しの検討を進めながら、現段階では2026年度の補強工事完了を目指す。

⇒3月1日原子力規制委員会です承された内容：目標時期「2025年度」に設定

➤ 脱水物・回収物・吸着材・HICの保管施設詳細設計完了・着工（②）

第105特定原子力施設監視・評価検討会（2/20）に提示した当社意見

当社意見：項目名称：「脱水処理・回収物の保管施設設計完了/固化処理計画策定」から、「脱水処理・回収物の保管施設設計完了」へ変更

意見理由：今後新たに必要となる脱水処理・回収物の保管施設の設計は、2023年度に設計方針を策定、2024年度に基本設計を行い、2025年度に詳細設計を完了する計画。

⇒3月1日原子力規制委員会です承された内容：項目名称：「脱水物・回収物・吸着材・HICの保管施設詳細設計完了・着工」

- 第105回特定原子力施設監視・評価検討会（2/20）に提示した当社意見との相違はあるものの、リスクマップに掲げられた目標達成に向けて取り組んでいく。

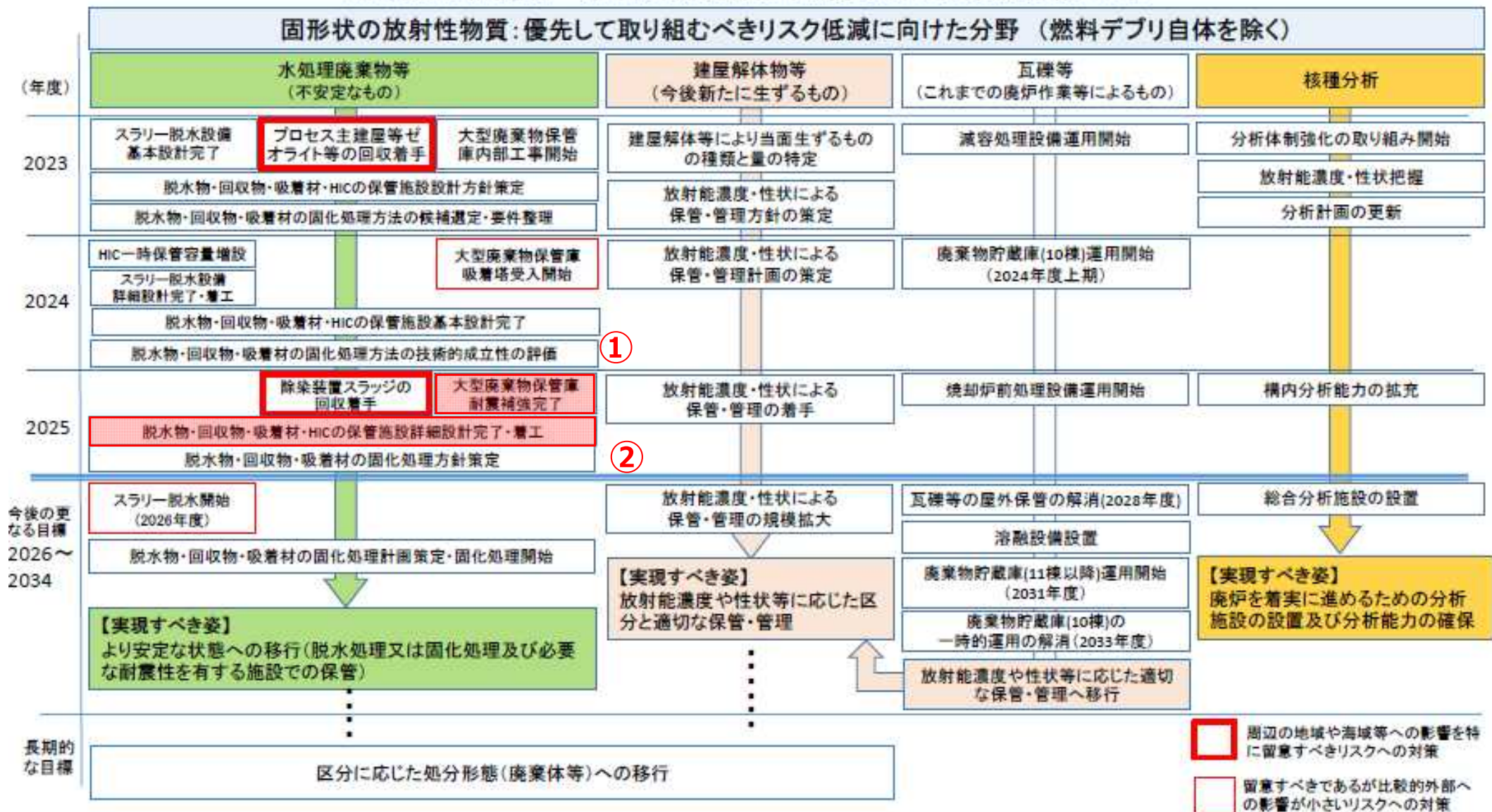
参考. 中期的リスクの低減目標マップの改訂 (2回目)

凡例

認識相違のある項目

東京電力福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップ

固形状の放射性物質: 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 (燃料デブリ自体を除く)



 周辺の地域や海域等への影響を特に留意すべきリスクへの対策
 留意すべきであるが比較的外部への影響が小さいリスクへの対策

※第78回原子力規制委員会(資料1 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップの改訂(2回目))より抜粋

参考. 中期的リスクの低減目標マップの改訂 (1回目)

凡例

認識相違のある項目

東京電力福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップ

固形状の放射性物質: 優先して取り組むべきリスク低減に向けた分野 (燃料デブリを除く)



 周辺の地域や海域等への影響を特に留意すべきリスクへの対策
 留意すべきであるが比較的外部への影響が小さいリスクへの対策

※第67回原子力規制委員会(資料1 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップの改訂(1回目))より抜粋